

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第126号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成20年10月29日 18時00分ごろ	
発生場所	南アフリカ沖 (概位 南緯31°13′ 東経30°53′)	
事故等調査の経過	平成21年5月12日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第一幸榮丸、399トン	
船舶番号、船舶所有者等	136832、神崎水産株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	主機2番シリンダのシリンダヘッドき裂	
事故等の経過	本船は、操業中、平成20年10月29日18時00分ごろ、主機冷却水の膨脹タンク水量が減少するようになり、各部を点検調査したところ、主機2番シリンダのシリンダヘッドに、深さ約10mm、長さ約100mmのき裂（燃料噴射弁孔と吸気弁孔の周囲）が発生していることが判明した。 当該シリンダの冷却水通水をカットして自力で減速帰航した。 最寄り港で、日本より空輸されたシリンダヘッドに新替えした。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、操業中、主機シリンダヘッドにき裂が生じたものと考えられる。 き裂が生じた理由は、明らかにすることができなかった。
原因	本インシデントは、本船が操業中、主機のシリンダヘッド冷却水通路に達するき裂が生じたため、主機の正常運転が阻害されたことにより発生したものと考えられる。	